

【 年間テーマ：働く私たちのQOLを高めるためには… 】

平成 30 年 4 月 17 日 提出

日付	平成 30 年 4 月 14 日 (土)			
場所	ホテルセントラーザ博多		記録者：坂田加代子	
施設名 出席者 (敬称略)	永野 病院 仲眞 裕子	津屋崎中央病院 小川 絹代	東福岡病院 佐藤 和代	水城病院 池田 良子
	福岡和仁会病院 有村 けい子	原土井病院 ◎眞名子佐喜子	有吉病院 福本 京子	松尾内科病院 ●原 佳子
	東福岡和仁会病院 ○坂田 加代子	◎リーダー (司会) ○書記 ●年間連絡係 (議事録が未提出の場合の連絡者)		
テーマ	平成 30 年度 年間目標及び計画			
結論	<p>年間テーマ：『働く私たちの QOL を高めるには・・・』</p> <p>根拠：“業務”に追われる日常の中で記録に多くの時間がとられている。人材不足を理由に果たして、私たち看護職は、患者さんのベッドサイドにどれだけ行けているだろうか？TV ドラマで目にする看護師が患者さんの車いすを押して散歩するシーン・・・今の病棟の現場では殆ど見られなくなっている。</p>			
決定事項	<p>仕事が終わって一日を振り返った時“今日はいい看護・介護が出来た！！”と思えるような、働く私たちが少しでも充実感を味わえるような看護・介護が出来る。</p> <p>少しでもベッドサイドで患者さんに寄り添う看護が出来るためには・・・を目標にそれぞれの施設で工夫している点など意見交換しながら一年後には、5分でも多く患者さんのベッドサイドに行く時間が増えた！と言えるよう、知恵を出し合ひましょう！！</p> <p>きっとそのことが離職防止と職員の定着にもつながるのでは・・・。</p>			
備考				
次回討論項目	<p>6 月：ベッドサイドケアを充実させるための工夫</p> <p>各施設での取り組みなどの意見交換</p>			

抑制廃止とケアの質を高める会 事務局

e-メールアドレス info@famcf.jp

FAX 092-691-3961